

【平成 29 年 2 月 25 日理事会承認】

選手強化委員会

## ナショナルチーム編成基準要綱（平成 29 年度版）

（目的）

1. この要綱は、公益社団法人日本ライフル射撃協会（以下「協会」という。）が、東京 2020 オリンピック競技大会でメダルを獲得するために編成するナショナルチームの基準に関して必要な事項を定めることを目的とする。
2. この要綱は平成 29 年度 1 年間運用し、運用の結果により見直しを行い、平成 30 年度以降の要綱を改めて平成 29 年度に定めることとする。

（用語の定義）

3. この要綱で使用する用語の定義を次のように定める。
  - （1）「ナショナルチーム」とは日本を代表し、東京 2020 オリンピック競技大会でメダルを獲得し得る選手の強化を図るために編成されたチームのことをいう。チームはナショナルコーチ（含むアシスタントナショナルコーチ）、専任コーチングディレクター、ナショナルチーム選手、ナショナルチームスタッフにより構成され、選手強化委員会のもとに設置される。
  - （2）「ナショナルチーム選手」（以下 NT 選手という）とは、日本代表選手としてふさわしい国際的競技力と優れた人格見識と品位、品格を兼ね揃え、かつ協会から認定を受けたものをいう。
  - （3）NT 選手は、以下のカテゴリーに分類される。

<ライフル・ピストル共通>

A カテゴリーと B カテゴリーに分類される。

A カテゴリーは、国際大会（オリンピック競技大会、世界選手権大会、ワールドカップ大会）で入賞以上の成績を残した場合に即時認定される。A カテゴリーは認定された時点から 1 年間を NT 選手として指定される。

B カテゴリーは、平成 29 年 4 月 1 日時点で F 基準を 1 回または H 基準を 2 回クリアし、その時点で NT ランキング 5 位以内に入っている選手を認定する。（F はファイナル、H はハイパフォーマンスの略）

なお、基準点クリア及び実記録は、国際試合は 1 年間、国内記録は 8 か月間有効とする。B カテゴリーは、基準点数をクリアした段階で即時指定され、9 月末、3 月末で過去半年間において基準要綱をクリアしている選手を翌半年間の B カテゴリーとして指定する。

- （4）「ナショナルチームスタッフ」（以下 NT スタッフという）とは、理事会により

任命される選手強化委員会委員及びナショナルチームの技術的サポート、医科学・情報戦略サポート等を担当するものをいう。

(編成)

4. ナショナルチームの編成は、上記3のナショナルコーチ、専任コーチングディレクター、NT選手、NTスタッフをもって構成する。
  - (1) ナショナルチームの編成の年度は、毎年4月1日より翌年3月31日までの協会活動年度と同じ期間とする。
  - (2) 選手強化の重点はAカテゴリー、Bカテゴリーの順とする。
  - (3) 選手の総数はライフル・ピストル各15名以内を指定限度とする。
  - (4) 50mライフル伏射、50mピストルは、NTランキング上位1名を指定限度とする。

(対象種目)

5. ナショナルチームの対象とする競技種目は、東京2020オリンピック実施種目とする。
  - <ライフル> 5種目
    - (1) 男子 10mエアライフル、50mライフル3x40、50mライフル伏射、
    - (2) 女子 10mエアライフル、50mライフル3x20
  - <ピストル> 5種目
    - (1) 男子 10mエアピストル、25mラピッドファイアピストル、50mピストル
    - (2) 女子 10mエアピストル、25mピストル

(選手の選考)

6. NT選手の選考は以下の手順で選手強化委員会にて決定し、理事会へ報告される。
    - <ライフル>
      - (1) 選考対象となる試合
        - ・協会及びJOCが海外派遣を行った国際競技大会等
        - ・第一回NT選考会(50m&10m、ダブルマッチ)平成29年4月予定
        - ・第二回NT選考会(50m&10m、ダブルマッチ)平成29年7月予定
        - ・第三回NT選考会(50m&10m、ダブルマッチ)平成29年11月予定
        - ・第四回NT選考会(50m&10m、ダブルマッチ)平成30年2月予定
        - ・全日本選手権(50m、10m)
        - ・全日本選抜(50m、10m)
- なお国際競技大会等の点数に関しては、予選、本選ともに対象試合とする。

## (2) 選考方法

上記の国内試合 6 試合の記録（8 か月）、及び海外派遣試合等の 1 年間の記録の内、上位 3 回の記録の平均点順位による順位表（以下 NT ランキング）を作成し、かつ F 基準は 1 回、H 基準は 2 回クリアした選手のうち、NT ランキング 5 位以内の選手を NT 選手として指定する。この NT 選考は 9 月末と 3 月末に NT ランキングに基づき実施される。

平均点整数値が同点の場合は、最近の試合点数が高い選手を優先する。

### <ピストル>

#### (1) 選考対象試合

- ・協会及び J O C が海外派遣を行った国際競技大会等
- ・全日本選手権
- ・全日本選抜
- ・全国春夏秋冬ピストル大会
- ・エアピストル NT 選考記録会（長瀬、広島）

なお、国際競技大会等については、予選、本選ともに対象試合とする。

#### (2) 選考方法

上記の国内試合 4 試合（8 か月）の記録及び海外派遣試合の 1 年間の記録の内、上位 3 回の記録の平均点順位による NT ランキングを作成し、かつ F 基準は 1 回、H 基準は 2 回クリアした選手のうち、NT ランキング 5 位以内の選手を NT 選手として指定する。この NT 選考は 9 月末と 3 月末に NT ランキングに基づき実施される。

※平均点の整数値が同点の場合は、最近の試合点数が高い選手を優先する。

NT 選考会におけるファイナル結果を重視し、最終順位の 1 位選手の本選点数に 2 点、2 位選手に 1 点を加点し、本選で加算した点数を獲得したものと評価する。これにより評価点数が F 基準、H 基準を超えた場合は、基準をクリアしたものとする。

### (派遣競技会)

7. 派遣選手の選考については、理事会の承認を受けた本要綱に基づき、選手強化委員会で決定し、理事会に報告する。

(1) 国際競技大会派遣については、下記の順に選考する。

(ア) 平成 29 年度 WC 3 大会（ミュンヘン、ガバラ、メキシコ）

【派遣優先順位】（派遣人数については WC 各大会及び種目により異なる）

- 1位 NT選手 NTランキング1位
- 2位 NT選手 NTランキング2位
- 3位 ジュニア育成委員会から推薦されたNTランキング上位選手
- 4位 NT選手 NTランキング3位
- 5位 ジュニア育成委員会から推薦されたNTランキング上位選手

※MQS選手の決定については、試合直前のコンディション等を考慮し、選手強化委員長が選手強化委員会の審議を経て決定する。

(イ) 第10回アジアエアガン選手権大会 (埼玉県和光市)

【派遣優先順位】 (派遣人数については種目により異なる)

- 1位 NT選手 NTランキング1位
- 2位 NT選手 NTランキング2位
- 3位 ジュニア育成委員会から推薦されたNTランキング上位選手
- 4位 NT選手 NTランキング3位
- 5位 ジュニア育成委員会から推薦されたNTランキング上位選手

(ウ) 平成30年1月国際エアガン (ミュンヘン)

【選考会方式】 (派遣人数については種目により異なる)

平成29年10月全日本選抜ライフル射撃選手権大会 (能勢)

※ファイナルの最終結果により決定する。ただし、H基準をクリアすること。H基準をクリアしていない場合はファイナル上位でも派遣しない。

なお、いずれの試合においても派遣優先順位が同位の場合は、Aカテゴリーが優先する。

(2) ライフルの派遣対象試合と基準対象記録

・WC ミュンヘン大会 (5/17-24 ドイツ・ミュンヘン)

平成29年3月NT選考会までの国内指定試合8ヶ月以内の成績と平成28年4月から1年間の海外派遣試合成績を対象としたNTランキングを基準とする。

・WC ガバラ大会 (6/6-14 アゼルバイジャン・ガバラ)

平成29年4月全日本選抜ライフル射撃競技大会までの国内指定試合8か月以内の成績と平成28年度4月から1年間の海外派遣試合成績を対象としたNTランキングを基準とする。

・WC グアダラハラ大会 (3/2-12 メキシコ・グアダラハラ)

平成29年11月NT選考会までの国内指定試合8ヶ月以内の成績と平成28年11月から1年間の海外派遣試合成績を対象としたNTランキングを基準とする。

- ・第10回アジアエアガン選手権大会（12/7-11 埼玉県和光市）  
平成29年10月全日本選抜ライフル射撃選手権大会までの国内指定試合8ヶ月以内の成績と平成28年11月から1年間の海外派遣試合成績を対象としたNTランキングを基準とする。
- ・平成30年1月国際エアガン（ドイツ・ミュンヘン）  
【選考会方法】平成29年10月全日本選抜ライフル射撃選手権大会（能勢）  
※ファイナルの最終結果により決定する。ただし、H基準をクリアすること。H基準をクリアしていない場合はファイナル上位でも派遣しない。

基準点数（ライフル）

	3×40M	P60M	AR60M	3×20W	AR40W
F基準	1170点	622.9点	626.8点	581点	417.3点
H基準	1165点	620.9点	625.0点	579点	415.5点

※ Fはファイナルの略：2016年実施WC4大会8位の平均点相当

Hはハイパフォーマンスの略：2016年実施WC4大会16位の平均点相当

海外派遣記録はMQSでの派遣も記録として参照する。

(3) ピストルの派遣対象試合と派遣基準記録

- ・WCミュンヘン大会（5/17-24 ドイツ・ミュンヘン）  
平成29年3月NT選考会までの国内指定試合8ヶ月以内の成績と平成28年4月1日から1年間の海外派遣試合成績を対象としたNTランキングを基準とする。
- ・WCガバラ大会（6/6-14 アゼルバイジャン）  
平成29年3月NT選考会までの国内指定試合8か月以内の成績と平成28年度4月1日から1年間の海外派遣試合成績を対象としたNTランキングを基準とする。
- ・WCメキシコ大会（3/2-12 メキシコ・グアダラハラ）  
平成29年11月NT選考会までの国内指定試合8ヶ月以内の成績と平成28年11月から1年間の海外派遣試合成績を対象としたNTランキングを基準とする。
- ・第10回アジアエアガン選手権大会（12/7-11 埼玉県和光市）  
平成29年10月全日本選抜ライフル射撃選手権大会までの国内指定試合8ヶ月以内の成績と平成28年11月から1年間の海外派遣試合成績を対象としたNTランキングを基準とする。
- ・平成30年1月国際エアガン（ドイツ・ミュンヘン）  
【選考会方法】平成29年10月全日本選抜ライフル射撃選手権大会（能勢）  
※ファイナルの最終結果により決定する。ただし、H基準をクリアすること。H基準をクリアしていない場合はファイナル上位でも派遣しない。

海外派遣記録は M Q S での派遣も記録として参照する。

基準点数（ピストル）

	F P	R F P	A P M	A P W	S P W
F 基準	557 点	581 点	581 点	383 点	582 点
H 基準	555 点	575 点	578 点	381 点	577 点

（ナショナルチーム員の資格停止）

8. N T 選手が以下の事項に該当する場合は、理事会の承認を得て資格を停止するものとする。

- （1） 特別な事情なくまたは無断でナショナルチーム合宿を欠席したもの。
- （2） 選手強化委員会の指導方針に反して故意に反発したもの、もしくはチームの秩序を乱したもの。
- （3） ナショナルチームの目的に反する行動を意図的に取り、選手強化委員会の是正の求めに応じないもの。
- （4） ドーピング防止規程に違反し、競技者資格を停止されたもの。
- （5） ドーピング防止規程に定める居場所情報提出義務を怠り、競技外検査を過去 18 か月間に 2 回忌避したとみなされているもの。

（ランキング）

9. ランキングは以下の考え方で集計し協会ホームページに公表する。

1 年間ローリングでランキング対象試合の記録を集計し、ベスト 3 の平均値順で発表する。

注：これは一般射手も含めたランキングであって、N T の N T ランキングではない。

（要綱の改正）

1 0. 要綱改正の必要が生じた場合は、理事会の承認を得なければならない。

付則

1. この要綱は、平成 2 9 年 4 月 1 日から実施する。